

今こそ、原点回帰！

～すべては感謝の心から～

【はじめに】

私が子どものころ、学校で悪いことをすれば先生に、真剣に叱られ叩かれていました。家庭でも同じように怒られ、帰り道では知らないおじさんからよく注意されていました。しかしそこには、先生や近所の大人の子どもに対する、溢れんばかりの愛情があったように思えます。また、放課後は友達と日が暮れるまで野球をしたり、川の中で魚を捕まえたりして毎日を過ごしていました。その頃、一緒に過ごした友達とは、強い友情と絆でつながっていました。現在は、そのころに比べインターネットの急速な進歩や玩具の高度な性能により、子どもを取り巻く環境が大きく変わり、子どもたちの過ごし方も変化したように思えます。

そのような中で生活がとても豊かになり、便利な時代になるにつれ、自分さえ良ければいい、自分のことしか考えないという利己主義が蔓延し、日本人として大切な『心』利他の精神をどこかに置き忘れてしまっているように感じてなりません。2017年度、公益社団法人ひびき青年会議所は、その大切な心を取り戻し伝えていく活動を行います。

昨年度、公益社団法人ひびき青年会議所は、創立45周年という節目を迎えることができました。1972年中間青年会議所は高い志を持ったメンバーによって全国497番目に誕生しました。創立当初から現在に至るまで目まぐるしく変化する社会情勢の中、『英知と勇氣と情熱』をもって時代を切り開いていただいた先輩諸兄の功績に感謝し、今年度は46年目という新たな一步を踏み出す、50周年へのスタート年度と考えております。今からどんなに時代が変化しようと、明るい豊かな社会の実現に向け、メンバー一丸となり努力してまいります。

【大切な心で繋がるひびきJC】

私は、青年会議所に入会し義理・人情・思いやりという、大切な心を学びました。世の中はインターネットの普及により、価格だけの競争や、接客なしでの売買ができるようになりました。それゆえに、義理・人情が非常に薄れていると強く感じます。しかし、青年会議所活動を一生懸命続けていると必ず、義理・人情による強い絆が生まれます。同じ目的に向かい苦楽を共にし、感謝の気持ち

を持って互いに切磋琢磨することで、得られる真の友情は一生の宝であります。社会に出てこのように、新たに友情を育むことは、とても難しいことだと思います。違う価値観をもった同志が集まる青年会議所は上辺だけでなく、真の友情を育むことができます。時には真剣にぶつかり合い、時には素直に認め合うことで、より強固な組織を作り上げていきましょう。

【元気溢れるひびき J C】

私たちひびき J Cは元気な LOM だと言えるでしょうか。近頃は、LOM メンバー同志の絆も希薄になりつつあるように感じます。元気な LOM になるためには、J C 活動を楽しむことだと思います。たくさんの方々の事業に参加・参画し、いろいろな経験のなかで得られるものが楽しさだと思います。各種大会の参加、LOM で行う事業の一つひとつに意味があり、自分を成長させてくれるきっかけがあります。元気溢れる J C になるために、各々が少し背伸びしチャンス自らつかんでほしいと思います。

【感謝の心を育むひびき J C】

私は、2005 年に入会し長い間活動してきました。本当に多くの方々と出会い、たくさんの方々に教えて頂きました。自分を成長させてもらったことに、とても感謝しております。そして、ここまで続けてこられたのも多くのメンバーから支えてもらっているお陰です。

また、青年会議所に在籍し活動できるのは、家族をはじめ周りの理解と協力のお陰です。家族の協力なしでは活動できません。会社では、社員の理解がないと活動できません。感謝の心を常に持つことで、言葉や態度で伝わるものがあると信じています。今、活動できる環境に感謝し、自己の成長を感じてもらうこと、経験により学んだことをフィードバックしていくことこそが、恩返しではないでしょうか。

【今でしょ！原点回帰】

ひびき J C が継続して行っている事業に、青少年育成事業『ひびきサマースクール』や地域開発事業『流イキッズ』があります。サマースクールは 13 回行い毎年、目的を変え、プログラムを変え、子どもたちに伝えるべきことを伝えてきました。また、流イキッズは 7 回、福岡県広域地域振興課の主催のもと、遠賀川の歴史や役割を教える郷土愛育成を目的に我々ひびき J C が協力してきま

した。それぞれの事業には目的が違い、子どもたちに伝える内容も違います。この二つの大きな事業は継続事業であるが故に課題が生じているのも事実であります。本年度は、事業の本質をしっかりと見極め、原点に立ち返り『地域リーダーの育成』を行う必要があると考えています。時代と共に変えないといけないこと、変えてはならないことをしっかりと議論し、事業を組み立ててまいります。

【地域の未来のために】

例えば、ひびき J C がこの地域からなくなった時、行政・各種団体・地域の方々には、私たちの必要性を感じてくれるのだろうか。本当に地域のために私たちは活動できているのか、改めて考えさせられます。

未来を担う子どもたちに、子どもたちが大人になった時、この地域に住みたいと思っているのだろうか。地域の魅力や素晴らしさを伝えることにより、意識が変わるのではないだろうか。子どもたちに日本人として、大切な心を学んでもらうと同時に故郷の魅力も伝えていきます。

また、地域・行政・J C が共に協力し活動をすれば、素晴らしい力となり、賑わいのある魅力溢れる地域を創ることができるのだと思います。

【地域に発信、ひびき J C】

明るく豊かな社会の実現に向け私たちは公益性溢れる事業を開催しています。より多くの方に活動の内容や、事業の目的を知ってもらうことで地域との連携がとれていくのだと思います。近年、技術が進歩し情報を伝える方法が、大きく変わりました。情報を広範囲に瞬時に配信できるようになりました。今の時代にあった手法を使い情報発信をしていくことは、非常に効率的で効果的なことです。我々、ひびき青年会議所がどのような目的で、どのような運動を展開しているのか、対外へ発信していきましょう。また、公益社団法人としての公益事業の展開、透明性のある運営を行い、規則に基づいて組織運営をしていくこともこの団体の魅力であります。

【会員拡大！全員で取り組もう、ひびき J C】

青年会議所というところは、入会するときの動機と入会してからの目的を変えてくれる素晴らしい団体であり、この魅力を一人でも多くの方に伝えねばな

りません。

明るく豊かな社会の実現に向けてのJC運動を継続していくうえで会員拡大は必要不可欠であり、それには、一人ひとりがJC活動をもっと真剣に行い、JCの良さを体感することだと思います。JCは頑張った分だけ、必ず自分に返ってくる、その実感があれば、これから入会を考える人を必ず導けるはずで、そして、自然と説得力のある言葉になるはずで、自信と誇りを持って、新しい仲間を増やしていきましょう。

会員拡大、いつするの！ 『今でしょ！』

【結びに】

私は、この故郷（まち）が好きです。このひびき青年会議所が大好きです。本年度、公益社団法人ひびき青年会議所は新たな第一歩を踏み出します。いつの時代でも社会を動かす原動力は我々青年の情熱であり、その情熱は各地域の活力となります。明るく豊かな社会の実現に向けて我々は英知と勇気と情熱をもって挑み続けます。自らの成長のため、故郷の未来のためにメンバー一丸となり邁進してまいります。

基本方針

1. 会員の資質向上が図れる事業の実施
2. 地域から必要とされる事業の実施
3. 地域の未来を担う子どもたちの育成事業の実施
4. 未来を見据えた全員で行う会員拡大